

ボーイスカウトの活動とは…

－What's scouting?－

・・・ボーイスカウト運動は小さなキャンプから始まった。・・・

少年たちの旺盛な冒険心や好奇心をキャンプ生活や自然観察、グループでのゲームなどの中で発揮させ、「遊び」を通して少年たちに自立心や、協調性、リーダーシップを身につけさせようとした。これがボーイスカウト運動の始まりです。

1907年イギリスから始まり世界中に広がり、現在では世界の162の国と地域が加盟し、3600万人のスカウトが参加しています。

社会教育団体としては他には類を見ないほど国際性を持ち、その意義が広く認められています。環境教育や国際理解、国際協力のプログラムを積極的に展開し、国連の諸機関と協力し、国際活動も行なっています。

創 始 者 **ベーデン・パウエル卿** [英国、退役将校]



ボーイスカウトとは

スカウトとは、「先駆者」のことで、ボーイスカウトとは、「自ら率先して幸福な人生を切り開き、社会の発展の先頭に立とうとする少年」という意味を持っています。

ボーイスカウト千葉県連盟松戸第9団

1 ボーイスカウト活動が目標としているのは

■ この活動の目的は

ボーイスカウトの組織を通じて、

- ・ 青少年がその**自発活動**により
- ・ 自らの**健康**を築き
- ・ **社会に奉仕できる能力**と**人生に役立つ技能**を体得し
- ・ かつ**誠実、勇気、自信**および**国際愛**と**人道主義**を把握し
- ・ **実践**できるよう教育すること

■ 健全な心と身体を培うために・・・。

「ちかい」と「おきて」を実践すること

ちかいとは自らの意志に基づいて堅く約束すること

- ① 神（仏）と国とに誠を尽くしおきてを守ります。
- ② いつも、他の人をたすけます。
- ③ からだを強くし、心をすこやかに、徳を養います。

おきてとは活動をよりよきものとするための決まり

〈日常活動の規範〉

〈スカウトがよい市民になるための基礎〉

スカウトは誠実である。

- ① スカウトは友情にあつい。
- ② スカウトは礼儀正しい。
- ③ スカウトは親切である。
- ④ スカウトは快活である。
- ⑤ スカウトは質素である。
- ⑥ スカウトは勇敢である。
- ⑦ スカウトは感謝の心をもつ。



■ ボーイスカウトの5つの部門。

子どもの年齢に合った育成を行なうために、各年齢層の5つの部門で活動しています。



ビーバースカウト
小学校1年生の
就学直前1月から

ねらい

- ・ みんなで仲よく遊ぶ。
- ・ 自然に親しむ。
- ・ 楽しみや喜びを分かちあう。

活動目標

- ・ 自分で考え、自分のことは自分ですること。
- ・ みんなでルールを作って仲良く遊ぶこと。
- ・ 自然や社会とふれあうこと。



カブスカウト
小学校3年生の4月から



■ **人を思いやる気持ち、一人ひとりに。**

ボーイスカウトの日常活動の大きな柱に様々なボランティア活動があります。
募金活動や公園の清掃から災害支援まで、奉仕活動、地域貢献活動に積極的に参加しています。
そして人の役に立つことの大切さ、人を思いやる気持ちを学んでいきます。

2 ボーイスカウト活動が他の団体と異なるところは

■ **小グループ活動(班制度)** 班は、少人数の少年たちによって編成されます。

- ① 遊びの仲間により作られた、異年齢の集団。
- ② 仲間の一人にリーダーシップをとらせる。
- ③ 6～7人のグループで、一人ひとりが、班の運営のために明確な役割を分担する。

子供たちの意見などが反映しやすいように、活動の最小単位を下記のように設けています。

ビーバー隊	隊を単位	リーダーがスカウトの意見を聴取
カブ隊	組 //	組長、次長が組のまとめ役 + リーダー
ボーイ隊	班 //	班長、次長が組のまとめ役 (+リーダー)
ベンチャー隊	班 //	同上
ローバー隊	班 //	同上

■ **進歩制度と技能章課目 技術を磨き、知識を学ぶボーイスカウト**

少年たちの成長に合わせ、個性を伸ばしながら、社会人として必要な資質を身につけさせる、それが進歩制度の考え方です。

進歩制度には、少年たちが必ず身につけるべき共通のもの(**修得課目**)と、各人が得意な技能や興味を伸ばすもの(**選択課目**)があり、色々な活動を通じて課目の修得に努力して行きます。

■ **野外活動 大自然の中だからこそ、チームワークが大切、協調性やコミュニケーションを身につける**

ボーイスカウト教育での野外活動は、単なる戸外でなくもっと広いもっと大きな自然から学ぶことを意図してます。(大自然を教場)